

# 全身麻酔時のマウスプロテクターの重要性について

本院の総合歯科診療部では、全身麻酔の手術を受けられる方の歯の健康を守るために、マウスプロテクター装着を推進しています。今回はその取り組みについてご紹介します。

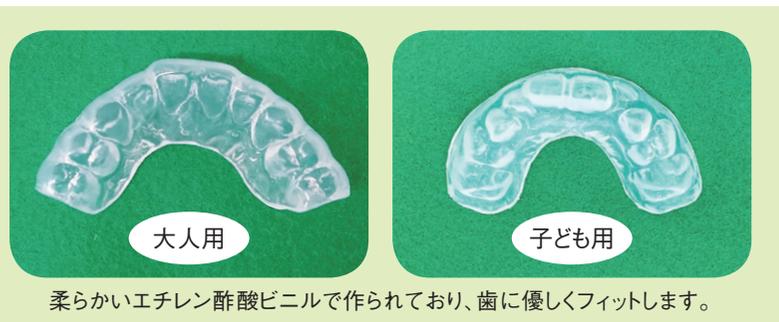
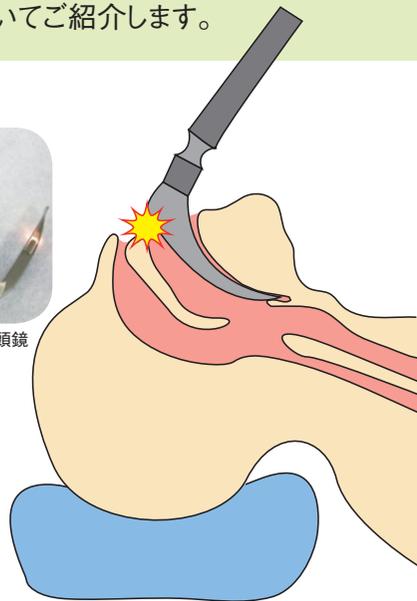
## 全身麻酔時におけるマウスプロテクターの必要性

皆さんは、外科手術などで行われる全身麻酔時に、体がどのような状態であるか詳しく知っていますか？医療ドラマなどではよく眠っているような演技をする役者さんが映し出されますが、実際には単に眠っているだけではなく、生命を維持するために必要な多くの生体機能が低下した状態です。呼吸もそのひとつで、全身麻酔が効いた状態では、自発呼吸が停止するため人工呼吸が必要となり、気管挿管が行われます。そこで挿管のために喉頭鏡が用いられます。

気管挿管とは、喉頭鏡で患者さんのお口から喉頭を確認し、気管挿管チューブを気管に挿入し、酸素を送る医療行為のことです。これによって、全身麻酔時でも呼吸が保たれ、生命が維持されるのです。ですが喉頭鏡を挿入する際、患者さんの前歯に当たってしまい、歯が破損してしまう場合があります。特にまだ歯の根っこが完成していない小児患者さんや、前歯に被せものやインプラントを入れている患者さん、歯茎が弱くなっている高齢の患者さん、歯周病の患者さんは歯の動揺が大きくなります。そこで歯を守るために活躍するのが、マウスプロテクターです。



気管挿管に使用する喉頭鏡



大人用

子ども用

柔らかいエチレン酢酸ビニルで作られており、歯に優しくフィットします。



■説明は  
総合歯科診療部  
外来医長  
**安陪 晋**  
(あべ すずむ)

■お問い合わせ先  
TEL: 088-633-7370  
(歯科外来Jブロック)

## 患者さんへひとこと

手術は大成功しても、目覚めてみたら前歯がなくなっていたという悲しい結果を未然に防ぎましょう。本院では、医科と歯科が緊密連携し、患者さんが安心・安全に手術を受けて頂くために尽力しています。地域の病院にかかっておられて、マウスプロテクターをお考えの方は、主治医にご相談のうえ、本院歯科への紹介をご検討ください。

## マウスプロテクターが できあがるまで

本院では、年間4000人ほどの方が全身麻酔の手術を受けられています。そのうち前歯が残存している全ての方に、安心・安全に手術を受けて頂くためにマウスプロテクターの着用をおすすめしています。マウスプロテクターを作製する流れは以下の図のとおりで、料金は保険適用があり、3割負担の患者さんで3,300円ほどです。

### 図：マウスプロテクター作製の流れ

#### 手術1週間前



本院の歯科を受診していただき、口腔内の状態を確認したうえで、歯形を採取します。予約は不要です。

#### ポイント！

歯形の採取は若手の医師が行います。様々な患者さんの口腔内を見せていただくことで、未来のスーパードクターが育っていきます。



本院の歯科技工士が、患者さんひとりひとりに合うマウスプロテクターを手作りします。

#### 手術前日または入院日



できあがったマウスプロテクターの微調整をします。受け取ったマウスプロテクターは病棟の看護師に預けてください。